

Vol.90

Vol.90 (2022年 春号)

# PMI 日本支部 ニュースレター

Best Practice and Competence / PM 事例・知識 ... 3

PM Calendar / PM カレンダー ..... 13

Fact Database / データベース ..... 14

Editor's Note / 編集後記 ..... 18

## Best Practice and Competence / PM事例・知識

◆女性コミュニティの設立 .....	3
PMI日本支部 副会長、戦略運営委員会 委員長 浦田 有佳里	
◆PM Award について .....	6
PMI日本支部 副会長、組織拡大委員会 委員長 齊藤 学	
◆法人さま向け「支部紹介セミナー」の実施について .....	9
PMI日本支部 副会長、組織拡大委員会 委員長 齊藤 学	
◆高等教育とリカレント教育のデジタル変革に関する国際シンポジウム開催報告 .....	11
PMI日本支部 理事、教育国際化委員会 井上 雅裕	

## PM Calendar / PMカレンダー ..... 13

- PMI日本支部関連セミナー等

## Fact Database / データベース ..... 14

## Editor's Note / 編集後記 ..... 18

## ◆商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Office の商標又は登録商標です。

# Best Practice and Competence/ PM 事例・知識

## 女性コミュニティの設立

PMI日本支部 副会長、戦略運営委員会 委員長 浦田 有佳里

### ◆はじめに

毎年公表されている世界経済フォーラム（WEF）による「ジェンダーギャップ指数」(<https://jp.weforum.org/reports/global-gender-gap-report-2021>)。日本はさまざまな分野で女性の活躍が低迷しています。私たちプロジェクト・マネジャーは多くの分野で活躍できるスキルを持っています。しかし、女性は環境や置かれた状況が男性以上に多様であり、個々に難しい課題があります。日本のPMP®保持者を見ても男性が9割です。欧米では女性と男性は同じくらいの割合でプロジェクト・マネジャーとして活躍しているのに、女性も男性も同等の能力がありながら、日本では何故女性のPMP®やプロジェクト・マネジャーが少ないのか。私たちPMI日本支部は、女性プロジェクト・マネジャー、リーダーの活躍を支援したいと考えています。

### ◆私たち女性自身が女性の活躍を考え、輪を広げよう

PMI日本支部では、2021年に他団体との共催で女性イベントを3回開催しました。

プロジェクト・マネジャーやリーダーの仕事、活躍を多くの女性に知っていただく、また、女性の活躍や現場での活動を共有したり、皆で新たな事を学んだり、いくつかのテーマで開催しました。

2021年6月、プロボノ（社会的・公共的な目的のためにプロフェッショナルなスキルを利用したボランティア活動）プログラムのコーディネートを通じてNPOの支援を行う組織であるサービスグラント様 (<https://www.servicegrant.or.jp/>)とイベントを開催しました。サービスグラント様とは、2014年からPMI日本支部の研究会と「プロジェクト・マネジメント」×「女性」をテーマとした「女性のキャリアデザインショーケース」というイベントを開催しています。

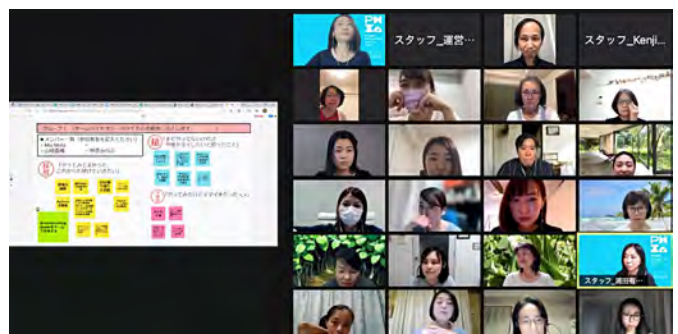


サービスグラント様との共催イベント (1)



サービスグラント様との共催イベント (2)

当時はリアルでワークショップを開催していましたが、2021年からはオンラインでのワークショップ、懇親会に切り替えました。オンラインでの仕事を与儀なくされつつ、色々と工夫をして仕事も生活も精一杯行う。多様な女性の思いをシェアし、50名近くの参加者でイベントはとても盛り上がりました。



サービスグラント様との共催イベント (3)



Best Practice and Competence / PM事例・知識

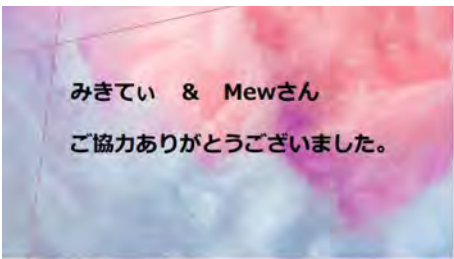
■女性コミュニティの設立

2021年8月には、6月に開催したイベントの実践編としてサービスグラント様と再度イベントを開催しました。ここではパネラーを二人お招きし、パネルディスカッションを行いました。プロダクトエンジニアである牟田さん、なんとエンジニア経験無しで新卒からプロダクト・マネジャーを実践。そして、100を超えるプロジェクト・マネジメントを行う大瀧さんは多忙な中で、プロボノでも活動されています。45名の参加者がパネルディスカッションやネットワーキング(交流会)を楽しみました。アンケートに記載されたパネラーの

方々へのコメントを集めてお二人のパネラーに感謝を込めてお渡ししました。

9月には、女性技術者フォーラム・JWEF (<http://jwef.jp/index.html>) 様とのイベントを開催しました。「DX時代に求められる新しい組織・思考・行動とは？」をテーマに掲げ、現場事例のお話からワークショップを行いました。初めて使うフレームワークでしたが、参加者の皆さまは、柔軟にしっかりとワークしてくださいました。

共催イベント後のアンケート結果



ZOOMだと聞くだけになりがちですが、質問をできたり、参加者同士でのアイスブレイクタイムが新鮮でした。とても有意義な時間を過ごしましたありがとうございました。

とても分かりやすかったです。

PMとしての工夫を知ることができた

第一線で活躍しているパネラーの方の具体的なPMに関する話を聞けたため、仕事では、PM経験がなくてもチャレンジできることが分かりやる気になった。

初参加でしたので少し緊張しましたが、前向きでエネルギー溢れるお話を伺えてよかったです。

パネラーの方の活発な活動話が聞けて楽しかった。

今回の企画で初めてプロボノを知り、活躍されている方からのマネジメント方法などを伺うことが聞けて興味深かったです。

居心地が良かったです

自分が携わる世界とは違ったバックグラウンドを持つ方々と話げできたのはとても楽しく、視野が広がる良い機会でした。ありがとうございます。

参加する前はプロボノやプロジェクト単位での働き方に興味はありつつも、PMなんて出来ないし...と後ろ向きな気持ちだったのですが、お話を聞く中で「私にも出来ることもあるかも。」という気持ちが出てきました。前向きになれるイベントでした。

参考になった点があったため。

パネラーや運営の皆様へのPMとしての工夫や前向きな発言に自分も頑張ろうという気持ちになりました。

自分の職場とは全く異なる文化に触れて良い意味でのカルチャーショックと刺激を得られたため。何よりパネラーの方々が生き生きと活動されている姿が魅力的でしたし、場違いかと迷ったものの交流も新鮮で参加してよかったです。

参加者の今後に生かせる情報共有という意味で、プロマネについて、もう少し女性ならではのメリット、デメリット、苦労した経験等、グループワークを含めた議論があれば良いと思います。

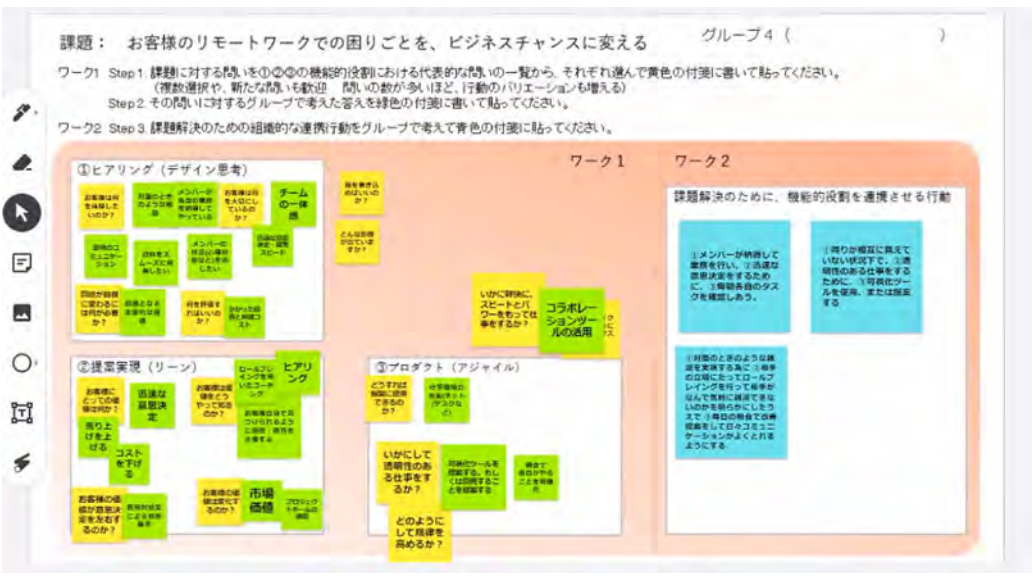
貴重なお話を伺うことができました。強い言葉は登壇者の方がスーパーウーマン過ぎて、敗れました。無敵感がすごかったです。コロナで仕事以外の人と話す機会が1年半ぶりくらいで、とても刺激的でした。

オンラインだと気軽に参加できて、ブレイクアトルームでのコミュニケーションも15分もできて、とても良かったです。運営ありがとうございました。

もっと気軽にプロボノ活動に参加出来たらと思いました。どうしても何か特別なスキルがないと役に立たないのではないかと感じてしまうので。今日登壇された方達にも当初圧倒されてしまったのですが、お話を聞いていくうちに「こんな方達と一緒に働いてみたい！」と思えました。プロジェクトマネジメント、やっぱり面白そうですね。

元気が出ました。在宅勤務で気持ちや仕事の進め方にメリハリがなくなって来たので、時間の使い方をもっと工夫していこうと思いました。参加して良かったです。ありがとうございます。

JWEF様との共催イベント



## Best Practice and Competence/PM事例・知識

## ■女性コミュニティの設立

## ◆女性コミュニティが立ち上がりました！

2022年2月14日、PMI日本支部女性コミュニティサイト (<https://www.pmijapan-women.net/>) をオープンしました。3色のPMIカラーを使った素敵なデザインのWomen's Community サイトです。コミュニティ・メンバー募集や過去のイベント報告などを掲載しています。皆さん、ぜひサイトを訪問してください。

サイトをオープンし、コミュニティ・メンバーの募集を開始しましたが、すぐに十数名ほどの応募をいただきました。第一回のコミュニティミーティングを4月に開催する予定です。※コミュニティ:PMI日本支部では2022年度から新たに「コミュニティ」という組織が作られました。会員・非会員問わずに参加できます。

## ◆インタビューから繋がる輪

立ち上げたWomen's Communityサイトには、年に数人の女性プロジェクト・マネジャーやリーダーのインタビューを掲載していく予定です。すでにオープン時に6名の素敵な女性プロジェクト・マネジャー、リーダーのインタビュー記事を掲載しています (<https://www.pmijapan-women.net/interview>)。

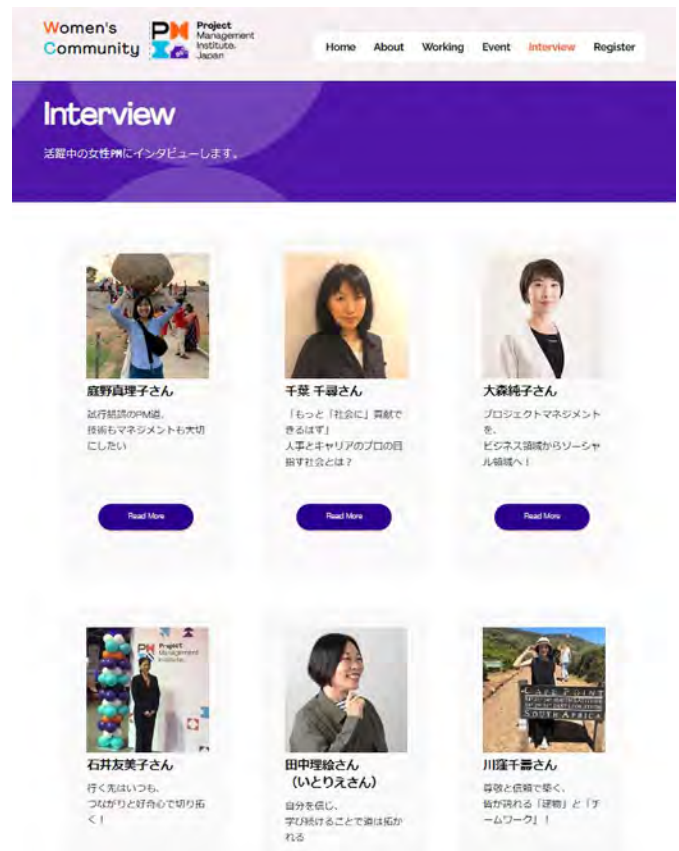
インタビューでは、仕事や趣味、これまでの人生まで幅広い内容を伺い、それをグラフィックレコーディングによってまとめ、写真を添えて掲載しました。このインタビュー記事は、PMI本部の「国際女性デー」でのインタビューや、家庭と仕事の両立を目指す女性サイトへのインタビュー企画へ掲載されるなど、PMI日本支部の女性コミュニティ活動の輪が広がっています。

## ◆これからの活動

4月には女性コミュニティの第一回のミーティングを開催します。その中で、これからの活動や企画を決めていきます。女性は男性以上に多様だとお話しましたが、結婚だけでなく出産など大きな変化の山が女性にはあります。そういう一人ひとりの環境・事情がある中での繋がりや、共に成長できるコミュニティ作りを目指しています。

プロジェクト・マネジャーやリーダーの仕事はとて大変です。しがらみのないコミュニティ・メンバーとただ会話をしたり、お茶を飲んだりするだけでもゆったりした時間を過ごせるかも知れませんし、キャリアについてもっと知りたい、

## Women's Community サイト



考えたいという人が多くの発見や一歩を踏み出せることが出来るかも知れません。私たちが何をやりたいのか、皆が繋がりの中で何かを見つけ、進んでいける場を作っていきたい、PMI日本支部はそんな女性の活躍を後押ししていきます。

ご興味のある方は会社内やまわりの女性もお誘いの上、ぜひこの女性コミュニティサイトをご訪問ください。

- PMI日本支部 Women's Community  
<https://www.pmijapan-women.net/>



- コミュニティ登録サイト  
<https://www.pmijapan-women.net/register>



# PM Award について

PMI日本支部 副会長、組織拡大委員会 委員長 齊藤 学

## 1. はじめに

PMI日本支部では2021年度の新施策として、国内の優れたプロジェクトを表彰する「PM Award」を創設しました。本記事では2021年度の実施内容を振り返りながら、今年度(第2回)開催に向けた展望をお話したいと思います。

## 2. PM Awardの概要

「PM Award」は、国内におけるプロジェクトマネジメントの啓発・普及団体である一般社団法人PMI日本支部がPMI Globalの協力の下、日本国内および日本企業・団体による未来創造に繋がる優れたプロジェクトを表彰する制度です。なお、本制度ではその実施を通じて以下に示す4つのビジョンの実現を目指しています。

- ①「プロジェクト」型の働き方の社会的広がりおよび適用範囲の拡大を広く伝える。
- ②プロジェクトを成功に導く手法としての「プロジェクトマネジメント」の有用性を広く伝える。
- ③卓越したプロジェクト、プロジェクトマネジメントを実践している企業・団体を広く紹介することを通じて、国内における「成功ナレッジ」の蓄積を加速させる。
- ④潜在的なプロジェクト実践者に対する情報発信を通じて、国内におけるプロジェクトマネジメントの普及活動を支援する。

また、昨年度はその第1回となる「PM Award 2021」を以下のスケジュールで実施しました。

- ①表彰制度の発表とエントリープロジェクトの募集：5月

- ②一次選考とファイナリストの発表：6～8月

- ③ファイナリスト紹介オンラインセミナーの開催：9月

- ④最優秀プロジェクトを決めるオンライン投票の実施：10月

- ⑤授賞セレモニーの開催：11月

PM Award 2021ではプロジェクト・エントリーが30件、その中から6件のプロジェクトをファイナリストとして選出しました。また、ファイナリスト紹介オンラインセミナーには1,400名もの方々が視聴登録、オンライン投票には約1,000名の方々にご参加いただきました。11月の授賞セレモニーも200名以上の方々にリアルタイムで視聴いただきました。ファイナリストおよび最優秀プロジェクト賞については公式WEBサイト (<https://www.pmi-j-award.net/>) をご覧ください。

## 3. プロジェクト推進の特徴

### (1) PMI Global・PMI Asia Pacificとのコラボレーション

本制度の第1回は費用面を含めPMI Globalに多大なる協力を頂きました。特にPMI Asia Pacificにはファイナリスト選考、特別賞の贈呈、メディア露出などのプロモーションにおいてご尽力いただきました。対外プロモーションを伴う大掛かりなイベントでのPMI Asia Pacificとのコラボレーション事例としても新規性の高い取り組みであったかと思います。

### (2) エントリーと選考

プロジェクトのエントリーに関しては、企業規模や業界、営利・非営利の区別なく幅広く応募いただくことを目指して

## 「PM Award 2021」ファイナリスト6件





## Best Practice and Competence/PM事例・知識

## ■PM Award について

います。一方で第1回はプロジェクトの正式発足からエントリー開始までの準備期間が一月程度しかなく、その中で応募要項の作成、選考プロセスの整備、情報発信のためのWEBサイト立ち上げなどをあわせて行いました。初回ということもあり、知名度も極めて低い中、個人会員、法人・アカデミックスポンサーへの協力依頼、そして理事・監事へ個別にプロジェクト発掘依頼などを行いエントリー数の積み上げを図りました。

選考に関しては「参加型」のイベントとなるよう、最優秀プロジェクトの決定ではオンライン投票を採用することにしました。ただし、個々のプロジェクトが表彰対象としてふさわしいプロジェクトであることの担保や投票のしやすさ・評価のしやすさの面など考慮し、PMI日本支部との繋がりが有識者による一次選考を行い、ファイナリストとして選出したプロジェクトに投票いただく方法を採用しました。

## (3) プロモーション

前述の4つのビジョンにあるように、本制度では「国内におけるプロジェクトマネジメント普及活動を加速させる」ことも大きな目的の一つに挙げています。そのため期間を通じてさまざまな情報発信・プロモーションを行いました。専用のWEBサイトの開設やSNSなどのネット媒体での情報発信や広告なども試行実施しています。また、単体イベントとしてはおそらく初めてのプレスリリースも実施しています。これらの施策の成果はまだまだ道半ばではありますが、Withコロナ時代に対応したプロモーション・ナレッジの蓄積も本制度の実施を通じて図りたいと考えています。

個別のイベントでは、オンラインでの「ファイナリスト紹介セミナー」を開催しました。本イベントは、オンライン投

## 「PM Award」公式WEBサイト



票の対象となるプロジェクト知っていただくことが主目的でしたが、オンライン投票をする母集団の形成やファイナリストの宣伝素材を収集する機会として重要な役割を果たしました。また、最優秀プロジェクト賞および各特別賞を授与する授賞セレモニーは会場での開催模様をライブおよびオンデマンドの両方で配信し、コロナ禍でも多くの方が参加・視聴できる環境を提供させていただきました。

## (4) 協賛・後援

「PM Award」の取り組みを広く周知するための取り組みとして、本制度に賛同していただける法人様に後援・協賛をお願いしました。第1回では14の企業・団体様に後援いただき、主にWEBサイトでの法人名掲載および、本制度に関連するイベントの告知に協力をお願いしました。またファイナリストへ特別賞を贈呈するため6の企業・団体様に協賛いただきました。

協賛・後援の確保にあたっては、法人スポンサー企業をはじめ、過去にPMI日本支部による後援実績がある企業・団体様、そして対外的な協働活動を推進している企業・団体様に幅広くお声がけしました。特に特別賞の贈呈に関しては、名称検討から贈呈ファイナリスト先の選定まで、数か月にわたる調整を個別に実施するなど、第1回の活動のなかでも特に挑戦的な取り組みであったと考えています。

## 4. 次回開催に向けて

初めての開催であった昨年は良くも悪くも、一から制度を立ち上げて試行錯誤しながらのプロジェクト推進でした。その中でプロジェクトを無事完遂し、一定の成果を得ることができたのは大変喜ばしいことです。一方で、今後開催を継続するにあたっての課題や改善点も見えてきました。第2回では昨年の経験・実績を踏まえいくつかの点で制度のブラッシュアップを図り、PMI日本支部を代表する継続的な活動になるようにしたいと考えています。

なお、第2回の開催告知およびプロジェクト・エントリー開始は4月を予定しています。冒頭に申し上げた通り、プロジェクト規模や業種・業態を問わず、優れた取り組みを幅広く選定し、世の中に広めていこうと思います。本稿を読まれている皆さまも是非、第2回の「PM Award 2022」にエントリーをお願いします。

Best Practice and Competence / PM事例・知識

■PM Award について



「PM Award」授賞セレモニーの様様



# 法人さま向け「支部紹介セミナー」の実施について

PMI日本支部 副会長、組織拡大委員会 委員長 齊藤 学

## 1. 法人さま向け 支部活動紹介拡充施策について

PMI日本支部では、法人スポンサー・プログラムを設けています。これは、組織（企業、教育機関、行政機関など）でのプロジェクトマネジメントの普及、向上に関心を持ち、日本支部のミッションに賛同し、活動を支援してくださる組織の皆さまに対して提供するプログラムで、現在107社に参画いただいています。

本プログラムの主要要素として、以下の3つがあります。

### ● 法人スポンサー・スタディ・グループ

法人スポンサー様の社員のみで構成される勉強会で、企業が共通して抱える課題、対応すべき事柄について意見交換、調査研究を行っています。企業・業界の枠組みを超えたプロジェクト・マネジャーの実践の場となっています。

### ● 法人スポンサー連絡会

4半期毎に開催するもので、組織に属するプロジェクト・マネジャーに対してセミナー等をまじえ、PM界の最新情報をお伝えするものです。

### ● PM部門長セミナー

組織の部門長の方々がこれからの時代を切り開くために必要な知識・情報を、セミナーを介して提供しています。

プロジェクトマネジメントの重要性が社会で認識されている一方で、法人スポンサーの新規加入に関しては、これまで支部WEBサイトからのお問い合わせや理事・個人会員からのご紹介などが中心であり、上記の貴重なプログラムがあること自体を、一般企業に広く認知されているとはまだまだ言えない状況にあります。こうした状況を踏まえ、法人スポンサーになっておいででない企業の皆さまに対して、PMI日本支部の法人向け活動や本プログラムの魅力を幅広くお伝えし、知っていただく機会を新たに作ることにいたしました。

## 2. セミナーの実施

上記のような主旨から、まず講演と意見交換を含むセミナーを開催することとし、その第一回目を本年1月に実施しました。平日の昼間に実施されたにも拘らず、60名を超え

る会社代表の皆さまにご参加いただき、講演および、その後の意見交換会も大変活発に行われました。

日 時：2022年1月25日(火) 13:00～15:00

テーマ：「企業活動とプロジェクトマネジメント」

～DX時代のプロジェクトマネジメント人材育成を考える

### 【セミナーの内容】

基調講演では、神庭PM研究所代表の神庭弘年氏から、「変らない組織の中で、あなたはどうか変わるべきか？～プロジェクト・マネジャーはゲーム・チェンジャーになれるか～」というタイトルで、DX時代のプロジェクト・マネジャーに期待することを講演いただきました。次に、PMI日本支部より法人スポンサー・プログラムについてご紹介し、最後に、3つある法人スポンサー・スタディ・グループのリーダーがそれぞれのグループの活動および成果物について発表を行いました。

### 【アンケート結果】

聴講後のアンケートで寄せられた声をご紹介します。

#### ● 神庭弘年氏の講演について

- 「日本の課題の再認識ができたこと、それと、プログラムマネージャとしての役割が注目されていることなど、気づきが多かったです。」
- 「PMはプロジェクトだけではなく、さらに上流のプログラム、経営計画も考慮する必要性が参考になった。」

#### ● 法人スポンサー・プログラムの紹介について

- 「法人スポンサー・プログラムの詳細情報が分かりよかったです。」
- 「参加することのメリットが把握できた。」

#### ● 法人スポンサー・スタディ・グループ（SG）活動報告について

- 「具体的な活動内容やSGのアウトプット例が示されてよかった。」

**Best Practice and Competence/PM事例・知識****■法人さま向け「支部紹介セミナー」の実施について**

- 「今回、育成系の活度紹介が多かったのですが、若手に絞らず、思想の硬直化していそうなマネジメント担当も参加させたい感覚になりました。」
- 「具体的でかつ実践的な取り組みが実施されていることに興味を持ちました。」

なお、セミナー開催後の対応として、ご興味を持っていた法人さま向けに個別の説明機会を設定したり、本プロ

グラムの中でも満足度が特に高い法人スポンサー連絡会やPM部門長セミナーにオブザーバー参加してもらったりしてスポンサーのメリットを体感いただくなど、法人スポンサーの新規加入につながるアクションを現在行っております。

そして今後も、より多くの企業の皆様にPMI日本支部の法人スポンサー・プログラムを理解いただくため、同様の取り組みを続けていく予定です。

# 高等教育とリカレント教育のデジタル変革に関する国際シンポジウム開催報告

PMI日本支部 理事、教育国際化委員会 井上 雅裕

**DXHE2022**  
International Symposium on  
Digital Transformation of Higher and  
Recurrent Education through  
Industry-Academia Collaboration

JSEE Japanese Society for Engineering Education  
SIT SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY  
UTM UNIVERSITI TEKNOLOGI MALAYSIA  
PMI Project Management Institute. Japan

## 高等教育とリカレント教育のデジタル変革 に関する国際シンポジウム開催報告

- オンライン開催  
2022年1月20日 14-17時  
2022年3月3日 14-17時
- オンデマンド配信  
2022年8月まで

レポート：理事、教育国際化委員会 井上雅裕

コロナ禍をきっかけにデジタル変革が進む高等教育とリカレント教育のビジョンをアジア太平洋地区の大学と産業界で共有し、オンラインと対面を組合わせたブレンド型による新しい国際連携、産学連携の人材育成のエコシステムを構築することを目的として2022年1月と3月の2回のシリーズで国際シンポジウムを開催しました。

PMI日本支部はこのシンポジウムを後援し、パネリストとしてPMI日本支部副会長の端山毅氏が登壇しました。また、PMIのマレーシア、タイ、インドネシアの各チャプターからもプレジデントなどを含めメンバーが参加しました。

プロジェクトマネジメントのリカレント教育での重要性やDXを進める上でのプロジェクトマネジメントの役割に関しても議論されました。

講演やパネルディスカッションのスライドPDFや録画が公開されており、オンデマンドでの聴講が以下のURLから可能です。

URL:<https://www.jsee.or.jp/researchact/researchcomt/digital>

目的、スコープ：

- コロナ禍後の高等教育とリカレント教育のデジタル変革のビジョンの共有
- 国際連携・産学連携による高等教育・リカレント教育の推進（オンラインと対面を組み合わせるブレンド型の連携）
- イノベーションとデジタルトランスフォーメーションを推進できる人材を育成するためのエコシステムをアジア・パシフィックの大学、企業、プロフェッショナル団体の連携による構築

主催：公益社団法人 日本工学教育協会

共催：マレーシア工科大学、芝浦工業大学

後援：一般社団法人 PMI日本支部



Best Practice and Competence/PM事例・知識

■高等教育とリカレント教育のデジタル変革に関する国際シンポジウム開催報告

◆第1回シンポジウム

日時：2022年1月20日木曜日、14:00-17:00（日本時間）

(1) 基調講演

Prof. Dr. Khairiyah Mohd, Yusof, マレーシア工学教育協会会長、マレーシア工科大学教授、演題“Strategies for University-Industry Collaboration to Harness Digital Technology in Higher and Continuing Education”

(2) 基調講演

深澤良彰氏、早稲田大学理工学術院教授、大学ICT推進協議会（AXIES）会長、日本オープンオンライン教育推進協議会（JMOOC）副理事長、演題“Digital Transformation of Higher Education in Japan”

**基調講演** Invited lectures



**Prof. Dr. Khairiyah Bte Mohd. Yusof**  
マレーシア工学教育協会会長  
マレーシア工科大学 教授



**深澤 良彰氏**  
早稲田大学 理工学術院 教授  
大学ICT推進協議会 (AXIES) 会長  
日本オープンオンライン教育推進協議会 (JMOOC) 副理事長

**パネリスト** Panel Discussion

- 芦沢 真五氏**  
東洋大学 国際学部 教授
- Dr. Sampan Silapanad**  
Western Digital Corporation (Thailand) Co.,Ltd.  
副社長/ジェネラルマネージャー
- 端山 毅氏**  
PMI日本支部 副会長  
株式会社 NTTデータ 技術革新統括本部企画部  
テクノロジーストラテジスト
- モデレーター
- 石崎 浩之氏**  
芝浦工業大学 客員教授、マレーシアオフィス所長

◆第2回シンポジウム

日時：2022年3月3日木曜日、14:00-17:00（日本時間）

(1) 基調講演

Dr. Maria Anityasari, スラバヤ工科大学准教授、グローバル・エンゲージメントディレクター、演題“Blended learning modes in international collaborative program: benefits and challenges”

(2) 基調講演

鳥居和功氏、株式会社日立アカデミー 取締役技術研修本部長、演題「社会イノベーションのグローバルリーダーに向けた人材育成の取り組み」“Human resources development measures to become a global leader in social innovation business”

(3) テーマ別3分科会

- 1) 産学連携による実践的教育とそのDX
- 2) リカレント教育、生涯教育、リスキリングとそのDX
- 3) オンライン教育とそのDX

**基調講演** Invited lectures

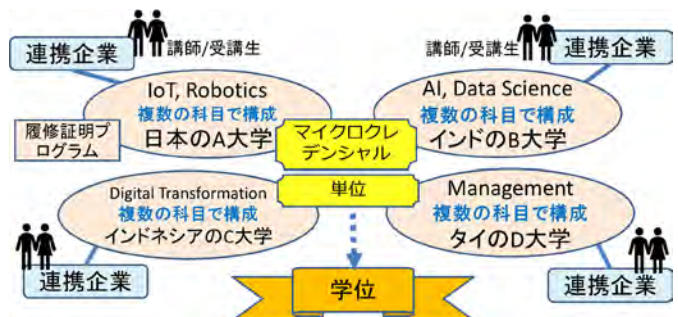


**Dr. Maria Anityasari**  
スラバヤ工科大学 准教授  
グローバル・エンゲージメント  
ディレクター

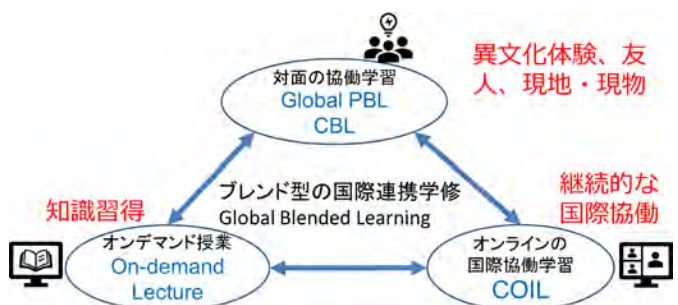


**鳥居 和功氏**  
株式会社 日立アカデミー  
取締役 技術研修本部長

オンライン・対面を併用した国際、産学連携の大学教育、リカレント教育



ブレンド型（ハイブリッド）学修での国際連携



# PM Calendar / PMカレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。  
新型コロナウイルス拡大防止の観点から、全てのセミナーをリモート化して実施しています。  
詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中・準備中】

## ■ PMI日本支部関連セミナー/ワークショップ

### ● 4月度月例セミナー

- 日時：4月16日(土)10:00～12:00
- 形式：リモート開催
- 2PDU

### ● アジャイル プロジェクト スタートアップ入門 ～ビジョニング編～

- 日時：4月26日(火) 9:30～18:30
- 形式：リモート開催
- 7PDU

### ● 5月度月例セミナー

- 日時：5月14日(土)10:00～12:00
- 形式：リモート開催
- 2PDU

### ● 関西ブランチ PM実践研究会発足 15周年記念 オンラインワールドカフェ

- 日時：4月23日(土) 13:30～17:00
- 形式：リモート開催
- 無料(受講証明書発行なし)

### ● アジャイル プロジェクト スタートアップ入門 ～見積り・計画編～

- 日時：5月24日(火) 9:30～18:30
- 形式：リモート開催
- 7PDU

### ● オンデマンド:「PMBOK®ガイド」第7版紹介セミナー

- 日時：6月末まで(予定)
- 形式：オンデマンド
- 無料(受講証明書発行なし)

## ■ PMI日本支部関連イベント

### ● PMI日本フォーラム 2022

- 日時：2022年7月9日(土)～10日(日) オンデマンド配信は7月末まで

【月例セミナー開催について】 2022年度の月例セミナーは、下記の日程で行います。

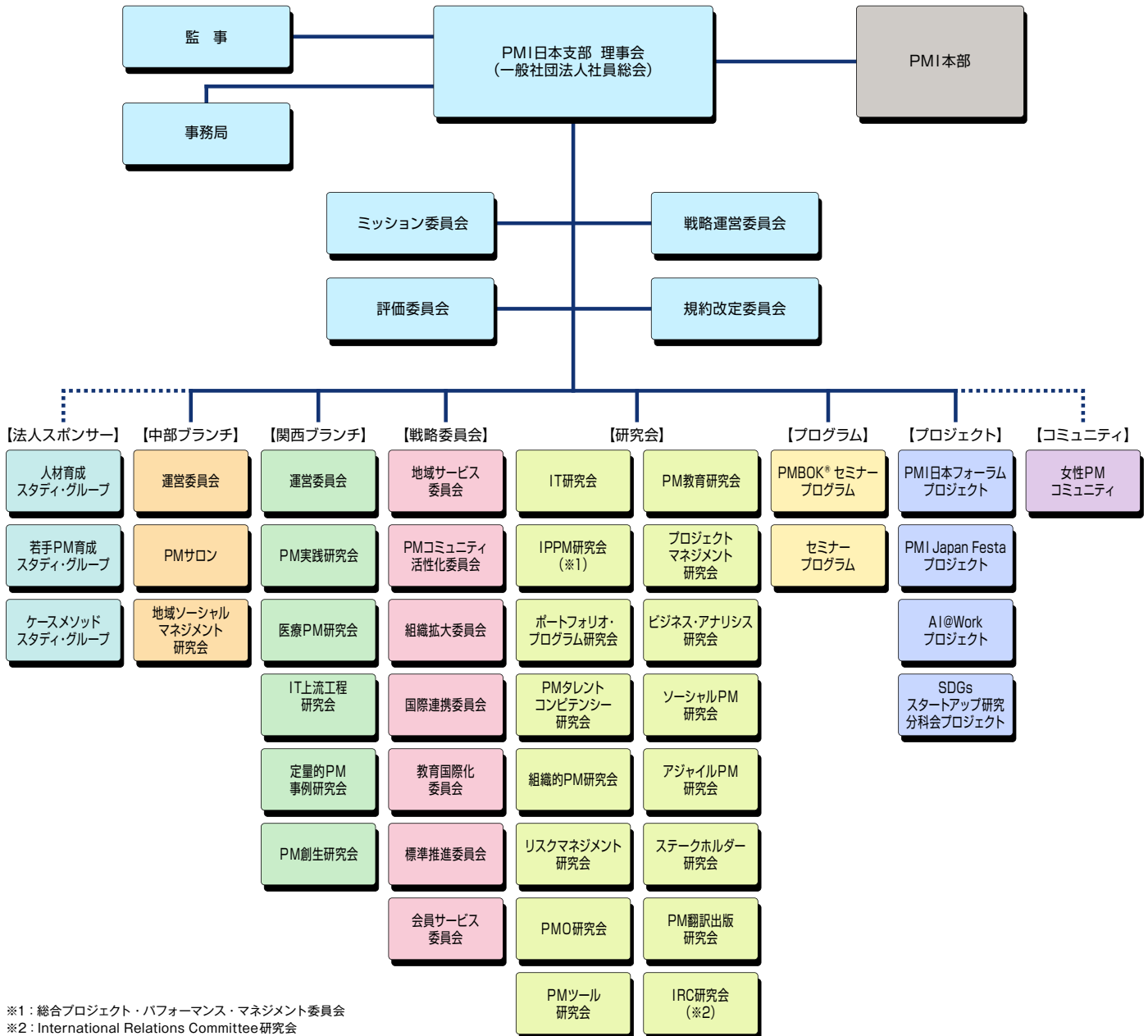
【日程(予定)】	(2022年1月22日(土) 新春特別セミナー)
① 2022年2月18日(金)	⑤ 2022年6月17日(金)
② 2022年3月18日(金)	⑥ 2022年8月20日(土)
③ 2022年4月16日(土)	⑦ 2022年9月16日(金)
④ 2022年5月14日(土)	⑧ 2022年12月16日(金)

\*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。  
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

# Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

## ■ 支部活動 (2022年3月現在)





## ■ 理事一覧 (2022年3月現在)

会長	端山 毅	株式会社NTTデータ
副会長	麻生 重樹	日本電気株式会社
副会長	浦田有佳里	国立研究開発法人情報通信研究機構 / ナショナルサイバートレーニングセンター
副会長	奥澤 薫	KOLABO
副会長	斉藤 学	スカイライト コンサルティング株式会社
副会長	森田 公至	キンドリルジャパン株式会社

(以下、五十音順)

理事	有坂 寿洋	株式会社日立アカデミー
理事	稲葉 涼太	株式会社Flexas Z
理事	井上 雅裕	慶應義塾大学 / 芝浦工業大学 / ISAL
理事	小川原 陽子	日本アイ・ビー・エム株式会社
理事	鬼束 孝則	Ridgelinez株式会社
理事	金子啓一郎	三菱電機株式会社
理事	杉原 秀保	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
理事	千葉 昌幸	株式会社三菱総合研究所
理事	中村 亜子	株式会社パーソル総合研究所
理事	永合由美子	東京大学 / (特非)日本女性技術者科学者ネットワーク / (特非)女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト
理事	藤井 新吾	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
理事	藤原 慎	株式会社NTTデータユニバーシティ
理事	松本 弘明	株式会社オプティム / 株式会社ユラスコア
理事	水井 悦子	エンパワー・コンサルティング株式会社
理事	保井 俊之	広島県公立大学法人 / 叡啓大学
理事	山本 智子	川崎医療福祉大学
理事	除村 健俊	サイバー大学 / 芝浦工業大学
理事	渡辺 敏之	日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ)
監事	片江 有利	株式会社システムコストマネジメント
監事	山中 良文	JFEシステムズ株式会社

## ■ 最新の会員・資格者情報 (2022年2月28日現在)

会員数	
PMI 本部	日本支部
682,278人	5,213人

資格保有者数										
PMP®		PMI-SP®	PMI-RMP®	PgMP®	PMI-ACP®	PfMP®	PMI-PBA®	CAPM®	DASM	DASSM
世界全体	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住
1,262,396人	40,967人	6人	11人	15人	283人	10人	18人	356人	17人	19人

## ■ 行政スポンサー (2022年3月現在)

- 三重県 桑名市
- 滋賀県 大津市

## ■ 法人スポンサー 一覧 (107社、順不同、2022年3月現在)

- TIS株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社NSD
- 株式会社インテック
- キヤノンITソリューションズ株式会社
- 日本電気株式会社
- アイアンドエルソフトウェア株式会社
- 株式会社NTTデータ
- プラネット株式会社
- 日本ユニカシステムズ株式会社
- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ヒューレット・パッカード株式会社
- 株式会社アイ・ティー・ワン
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- 株式会社NTTデータ関西
- 日本ユニシス株式会社
- JBCC株式会社
- 株式会社パーソル総合研究所
- 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立アカデミー
- 情報技術開発株式会社
- アイシンク株式会社
- 三菱総研DCS株式会社
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 東芝テック株式会社
- 三菱スペース・ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- NTTデータアイ株式会社
- 日鉄ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮グローバル株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- 株式会社JSOL
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社システム情報
- 住友電工情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- NDIソリューションズ株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社ラック
- 三菱電機株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 株式会社日立社会情報サービス
- 株式会社シグマクシス
- 株式会社TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタシステムズ
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社ワコム
- NCS & A株式会社
- 日立物流ソフトウェア株式会社
- SCSK株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- ビジネステクノクラフツ株式会社
- SOMPOシステムズ株式会社
- 株式会社エル・ティー・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS & ADシステムズ株式会社
- リコージャパン株式会社
- SBテクノロジー株式会社
- 株式会社インテージテクノスフィア
- 株式会社ネクストスケープ
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社オーシャン・コンサルティング

## Fact Database/データベース

- 株式会社リクルート
- アクシスインターナショナル株式会社
- JFEシステムズ株式会社
- アドソル日進株式会社
- キヤノン株式会社
- ビジネスエンジニアリング株式会社
- 大日本印刷株式会社
- サイフォーム株式会社
- I&Jデジタルイノベーション株式会社
- 株式会社NTTデータ・ニューソン
- キーウェアソリューションズ株式会社
- NECソリューションイノベータ株式会社
- 株式会社パスコ
- アベールソリューションズ株式会社
- 株式会社パデコ
- MIデジタルサービス株式会社
- エス・エー・エス株式会社
- Wrike Japan
- 明治安田システム・テクノロジー株式会社
- テルモ株式会社
- トップラン・フォームズ株式会社
- ペルノックス株式会社
- キンドリルジャパン株式会社
- 株式会社ヒューマンテクノシステム
- 株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック

## ■ アカデミック・スポンサー 一覧 (51教育機関、登録順、2022年3月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学経済科学部
- 北海道大学 大学院情報科学研究科
- 山口大学大学院技術経営研究科
- 筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学 ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 情報科学部
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 大阪大学 大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 学校法人中部大学 経営情報学部
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学産学・地域共創センター
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究支援センター
- 東京工科大学大学院 コンピュータサイエンス専攻
- 北海道情報大学
- 山口大学工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 慶應義塾大学・理工学部・管理工学科・飯島研究室
- 就実大学 経営学部
- 神戸女子大学 家政学部 家政学科
- 明石工業高等専門学校 建築学科 大塚研究室
- サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域
- 中京大学 情報センター
- 法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科
- 札幌学院大学
- 国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター
- 岡山大学 教育研究プロジェクト戦略本部 戦略プログラム支援ユニット (URA)
- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人国立高等専門学校機構舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室
- 東京都市大学 都市生活学部 国際開発プロジェクト研究室
- 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 情報文化学科
- 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院 研究センター
- 中央大学 国際情報学部
- 福岡工業大学 情報工学部 システムマネジメント学科
- 学校法人 角川ドワンゴ学園 経験学習部
- 第一工科大学 東京上野キャンパス



# Editor's Note / 編集後記

執筆者の皆さまへ。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

## ■女性コミュニティの設立

女性の社会進出・活躍について、さまざまな分野で低迷を続ける日本。このような中、PMI日本支部は、女性プロジェクト・マネジャー、リーダーの活躍を支援すべく2021年に「女性コミュニティ」を立ち上げて稼働開始しています。その活動内容を担当の浦田理事がご紹介しています。

## ■PM Award について

PMI日本支部では2021年度の新施策として、国内の優れたプロジェクトを表彰する「PM Award」を創設しました。本号では2021年度の実施内容を振り返りながら、2022年度の開催に向けた展望を担当の齊藤理事がご紹介しています。

## ■法人さま向け支部紹介セミナー

法人スポンサーになっておいででない企業の皆さまに対して、PMI日本支部の法人向け活動やその魅力を幅広くお伝えする機会を設けるべく、2022年1月25日にセミナーを開催しました。当セミナーの内容について、担当の齊藤理事がご紹介しています。

## ■高等教育とリカレント教育のデジタル変革に関する国際シンポジウム開催報告

コロナ禍をきっかけにデジタル変革が進む高等教育とリカレント教育のビジョンをアジア太平洋地区の大学と産業界で共有することを目的に2022年1月と3月に国際シンポジウムが開催されました。当シンポジウムの概要を、教育国際化委員会の井上理事がご紹介しています。

## ニューズレター編集担当から読者の皆様へお願い

皆さまからの書評、論評、トピックス、セミナー受講レポート、プロジェクト体験記、PMP認定試験受験体験記などを募集しています。PMI日本支部事務局宛てにお送りください。

日本国内では新型コロナウイルス感染症の第六波が終息の兆しを見せ、2022年3月21日に全国で「まん延防止等重点措置」が解除され、手探りではあるものの経済活動の再開へ舵が切られました。

一方、2月24日に始まったロシアによるウクライナへの侵攻は1ヶ月経過しても留まるところを見せず、現地での残虐な光景が毎日放映され、不条理を受け入れるしかない世の中に無力感を覚えます。

さて、このような中、PMI日本支部では1月28日～2月11日に理事選挙が行われ、24人の理事が2年間の任期で就任しました。次号では新任理事のご挨拶を掲載する予定です。

今年のPMI日本支部にもどうぞご期待ください。

### PMI日本支部ニューズレター Vol.90 2022年3月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局

〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階

TEL：03-5847-7301 FAX：03-3664-9833

E-mail：info@pmi-japan.org

ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

(非売品)